

天声人語

原白秋の「ペチカ」などは、口
すさむだけでも暖まる心地がす
る。♪雪のふる夜はたのしいペ
チカ。ペチカ燃えろよ。おもて
は寒い……。白秋の故郷、福岡
県柳川市の人たちは昨夕、寒波に舞う雪
のなかで、ペチカならぬテレビを前に熱
くなつたことだろう▼大相撲千秋楽の焦
点は、10年ぶりの日本出身力士の優勝だ
った。快進撃の琴奨菊は柳川の出身。昔
から「江戸の大関より土地の三段目」と
いわれ、郷土力士の活躍はファンの樂し
みだ。地元の大関の大一番に熱のこもら
ぬはずはない▼この人の立ち合い前の所
作は独特で、弓張り月のように巨体を反
らせ、大量の塩を豪快に投げ上げる。火
の出るような当たりで一気に寄るか、転
がされるか。竹を割ったように勝ち、あ
るいは負ける印象がある▼初の賜杯をか
けた一番も、当たつて押し込み、豪栄道
を突き落として土俵に転がした。角界最
強といわれる立ち合い。持ち味を生かし
た見事な勝ちっぷりだった▼大関昇進後
はけがに泣き、横綱勢の引き立て役の観
もあつた。去年の初場所は力ド番で迎え
て9勝6敗。1年後の快挙を想像した相
撲好きはどれほどいただろ。だが相撲
の神様は、黙々と稽古を積んできた31歳
に大きな花を用意していた▼へやはらか
に人分けゆくや勝角力／高井几董。鬼の
形相の土俵から一步出れば、春風駘蕩の
空氣を身にまとわせる。初めての優勝
力の代わりに、暖まらせてもらった。

2016・1・25